

「障害者福祉施設等における障害者虐待防止演習」の進め方

【配布資料】

- ・北摂杉の子会業務の振り返りチェックシート
- ・障害者福祉施設・事業所における障害者虐待の防止と対応の手引き（P7～19 抜粋）

【スタッフ】

- ・コメンテーター：松上利男・野澤和弘
- ・ファシリテーター：中川公二・西沢将行・渋沢茂

【演習内容とねらい】

☆参加者を6名×15にグループ分け（所属種別などに留意して行う）

☆下記の2つの内容についてのグループワークを順次行う。

①チェックシート内容についての意見交換

- ・北摂杉の子会業務振り返りチェックシートを使用。
- ・チェックシートの内容についての理解を深める。
- ・当日の演習ではジャムセッション型の進行（伝達のゴクイ参照）を行い、自由な意見交換を行う。
 - 参加者各々の思いを発露し、気付きを得る機会にする。
- ・国研修、都道府県研修を経て職場に持ち帰っての実践を期待。
 - 設問ごとの議論を重ねることで個々の職員の理解を深めることにつなげる。

②参加者事業所での虐待防止体制についての情報・意見交換

- ・厚労省手引きに沿って、虐待防止体制の整備についての理解を深める。
- ・所属事業所の体制の現状と課題を客観的に理解し、体制整備への礎にする。
- ・伝達研修として都道府県研修でそのまま行うことが可能。

【当日の進め方】

09:30/全体の説明

- ・種別ごとのグループ分けを行っていること、2つのセッションを行うこと。資料の確認。
- ・①についての説明

09:35/チェックシートの記入

09:45/議論のポイント提案＝寸劇的に（演者：中川・西沢・渋沢）

- ・提案した課題についてはPPTで投影

9:55/進め方の説明

- ・進行役の役割について説明。選定してもらうことについて説明。出来れば立候補が望ましい。（やる気のある人）
- ・職場で議論を行うことを想定して、議論のポイントについて、経験の浅い職員に

どのように説明するかという視点での発言を求める。

- ・今日の演習では、結論を導き出すことを目的にするのではなく、様々な意見を出し合うことを目的にしてほしい。（職場に持ち帰った時は一定の結論を得る必要はあるが。）
- ・全ての議論ポイントについて（本日は）まとめることをしなくても良い。

10:00/演習開始

- ・1週目に簡単な自己紹介と議論のポイントについての意見表明（1分程度）
- ・進行役（ファシリテーター）の選定。
- ・上記の要領で議論

10:30/ポイントについての説明（松上利男）

10:40/②について説明

- ・「手引き」に沿って各施設の状況と課題の発言と意見交換を行うこと。
 - * 運営規定への定めと職員への周知
 - * 虐待防止の責任者を設置する等の体制整備
 - * 倫理綱領・行動指針等の周知徹底
 - * 人権意識、知識や技術向上のための研修
 - * ヒヤリハット報告書・自己チェック表等の作成とPDCAサイクルの活用
 - * 苦情解決、オンブズマン等の利用。

☆これらを使用するなどして、職員への周知と意識向上の現状と課題。

10:45/演習開始

- ・①で選定した進行役の進行。
- ・1週目に各施設の状況と課題、出来ていないなら何故できないかを発言。
- ・意見交換
- ・スタッフが巡回して出された意見を拾い集めてまとめにつなげる。

11:05/まとめ（野沢和弘）

- ・スタッフが拾った各グループの状況についての意見。